

(抄訳)

ニュース・リリース

コンタクト：マーク・ハー（メディア）

212-770-3505

（携帯） 718-685-9348

ジョー・リーリ（投資コミュニティ）

212-770-7074

AIGは、配当としてのワラントの発行のための条件が成就したことを発表

資本再構成の要素は完了すると見込まれている

ニューヨーク連邦準備銀行への全額返済が完了する予定

米国財務省の保有持分はAIG普通株式と交換される予定

米国財務省によるAIG株の保有は経時的に終了する予定

AIGは確かな経済力を持つ企業となる

ニューヨーク 2011年1月12日ーアメリカン・インターナショナル・グループ・インク（ニューヨーク証券取引所銘柄：AIG）（「AIG」）は、本日（抄訳者注：NY時間1月12日。以下、本リリースに含まれる時間は断りのない限りすべてNY時間で表示。）、既に発表された、配当としての約7,500万個のワラント（「本ワラント」）に関する条件が成就したことを発表した（抄訳者注：同発表については、AIGが、東京証券取引所に2011年1月7日（日本時間）に開示を行った「AIGの取締役会は、資本再構成計画に関連して、配当としてのワラントの発行を承認」との表題の開示情報を参照されたい。）。AIGはまた、関連する事実、状況および条件に重大な変更が生じていないことを前提に、既に発表された資本再構成（「本資本再構成」）を2011年1月14日に完了させることを予定しているが、この点についての保証はない。

本ワラントは、2011年1月13日付けの株主名簿上のAIG普通株主に対し、2011年1月19日に交付される。各ワラントは、AIG普通株主に対し、1株あたり額面価格2.50ドルのAIG普通株式について、行使価格1株あたり45ドルで同株式を購入する権利を与える。

(抄訳者注:本ワラントの日本における取り扱いについては本文末尾の日本の実質株主における取扱いについての注記を参照されたい。)

プレジデント兼CEOであるロバート・H・ベンモシェ氏は「本日の発表により、私達は、2008年の金融危機の間に米国民が提供した多大な援助を返済するという私達の約束を果たせるものと予測しています。私達は米国民からの援助に感謝しており、米国民は、当社に投資したことにより利益を実現できるであろうと考えています。

AIGは、堅調で投資家が信頼するに値する企業として位置付けられており、世界でも最大規模でかつ最も広範囲に事業展開している損害保険事業体、トップクラスの米国内生命保険およびリタイアメント・セービング事業、ならびに当社の全ての利害関係者に対し長期的な価値を提供するために良好な状況にあるその他の事業を有しています。」と述べた。

2011年1月6日にAIGの取締役会によって宣言された配当の内容である本ワラントは、AIG、米国財務省、ニューヨーク連邦準備銀行（「NY連銀」）およびAIGクレジット・ファシリティー・トラスト（「本トラスト」）が、2011年1月12日の営業日終了時の時点で、2011年1月14日に本資本再構成を完了することが予定される（但し、2011年1月14日以前に、関連する事実、状況および条件に重大な変更が生じていないことを前提とする。）と判断することを条件としていた。本ワラントの発行に関する上記の条件は成就されたが、本資本再構成自体も完了に関する条件に制約されており、2011年1月14日に本資本再構成が完了されることを妨げるような事実、状況または条件の変更が生じないとは保証できない。

本資本再構成の完了に関する条件が2011年1月14日に成就すれば、同日付において、AIGは以下の事象が起きると予測している。

1. **AIGのNY連銀クレジット・ファシリティーを返済し終了する：** AIGは、NY連銀クレジット・ファシリティーに基づく優先担保付債務としての約210億ドルの借入の返済に、様々な資産処分からの収入を充てることによって、NY連銀優先担保付クレジット・ファシリティーを終了する。NY

連銀優先担保付クレジット・ファシリティの返済および終了の結果、2011 年第 1 四半期において、前払い委託資産の残額を表す、約 36 億ドルの費用が計上される。

2. **2つの特別目的会社（「SPV」）についての米国政府による持分保有を、秩序立って終了することを促進する：** AIG は、メットライフ・インクの株式（アメリカン・ライフ・インシュアランス・カンパニーの売却により得たもの）を保有する AIG 関連の SPV（「アリコ SPV」）についての NY 連銀の優先持分の一部償還に、資産処分からの特定の収入を充てる。AIG はさらに、シリーズ F 株式分の資金（不良資産救済プログラム（「TARP」）の下、借り入れ可能であったが未だ借り出されていなかった）を約 200 億ドル引き出し、これによってアリコ SPV についての NY 連銀の優先持分のうち上記償還の残存部分、および、エイ・アイ・エー・グループ・リミテッドの普通株式の約 33 パーセントを保有する AIG 関連の SPV についての NY 連銀の全ての優先持分を買い取る。かかる買取りを完了させた後、AIG は買い取った優先持分を米国財務省に譲渡し、この対価として、同額分のシリーズ F 株の残余財産優先分配権を償還させる。
3. **残存している AIG 優先株式の償還：** AIG は、AIG の普通株式 16.55 億株を、491 億ドル分の TARP シリーズ E およびシリーズ F 優先株式、ならびに、現在米国財務省の代理として本トラストが保有しているシリーズ C 優先株式と交換する。当該交換取引が完了し、本トラストが米国財務省に AIG の普通株式を移管した後、米国財務省は、新シリーズ G 優先株式（AIG は、一般的な企業活動に利用するために、同株式による資金の引き出しを行うことができる。）に加え、AIG の普通株式の約 92 パーセントを保有することになる。AIG は、米国財務省が、AIG の株式を、市場の状況に従い、経時的に売却すると予測している。

本ワラントの詳細：

ニューヨーク証券取引所における売買 AIGは、本ワラントにつき、本ワラントの銘柄をティッカーシンボル（ticker symbol）「AIG WS」としてニューヨーク証券取引所への上場申請を行っており、2011年1月13日から、「発行時」基準（“when issued” base）で、ニューヨーク証券取引所において売買が開始されると予測している。AIGは、2011年1月11日から1月19日にかけて、AIG 普通株式は、権利預り証（Due bills）付きで売買するよう、ニューヨーク証券取引所から勧告を受けている。これによりAIGの普通株式は、本ワラントの

分配の翌日である2011年1月20日からは、通常どおり、つまり権利落ちの形で、売買が開始される。権利預り証とは、実質的には、普通株式の売主から買主に対する、配当を受ける権利の譲渡である。

入手可能な情報 AIGは、AIGおよびワラント・エージェントであるウェルズ・ファーゴ・バンク・エヌ・エイとの間におけるワラント契約に基づき、本ワラントを発行する。ワラント契約の写しは、ウェルズ・ファーゴ・バンク・エヌ・エイ（連絡先：米国は888-899-8293（フリーダイヤル）また米国外は651-450-4064）より無料で入手できる。本ワラント契約は、2011年1月7日に提出された様式8-KによるAIGの臨時報告書（同報告書には本ワラントの条項の概要およびその他重要な情報が記載されている）の添付書類として添付されている。資本再構成に関する追加情報は、2010年12月8日に提出された様式8-KによるAIGの臨時報告書に記載されている。

本プレス・リリースに含まれている記述（特に、予想される資本再構成のクロージング日、資本再構成後のAIGの位置付け、および米国財務省によるAIG普通株式の売却の時期を含む）には、将来の見通しに関する記述が含まれている。かかる記述は、歴史的な事実を述べるものではなく、将来における事象に関するAIGの予測を表したものに過ぎず、その多くは、性質上、本質的に不確実なものであり、米国財務省による売却の時期および規模を含め、AIGのコントロールを超えるものである。実際に生じる結果は、これらの記述が示す将来の結果から（場合によっては大きく）異なる可能性がある。将来の見通しに関する記述と実際の結果との間に、（場合によっては大きな）差異を生じさせる要因は、いずれもSECに提出された、2010年9月30日に終了した四半期についての様式10-Q、2010年6月30日に終了した四半期についての様式10-Qおよび2010年3月31日に終了した四半期についての様式10-Qの、Part I, Item 2 “Management’s Discussion and Analysis of Financial Condition and Results of Operations” およびPart II, Item 1A “Risk Factors”、AIGの2009年12月31日に終了した年度についての様式10-Kにおけるアニュアル・レポートのPart II, Item 7 “Management’s Discussion and Analysis of Financial Condition and Results of Operations”およびPart I, Item 1A “Risk Factor”（2010年3月31日に提出された様式10-K/AのAmendment No. 1、および2010年8月24日に提出された様式10-K/AのAmendment No. 2を含む）、ならびに2010年12月8日に提出された様式8-KによるAIGの臨時報告書に記載されている。

#

AIG グループは世界の保険業界のリーダーであり、130 以上の国・地域で事業展開している。AIG グループ各社は、世界最大級のネットワークを通して個人・法人のお客様に損害保険商品・サービスを提供している。このほか、AIG グループ各社は、世界各国で生命保険事業およびリタイアメント・サービス事業を展開している。なお、持株会社 AIG, Inc. の普通株式はニューヨーク、アイルランド、東京の各証券取引所に上場されている。

#

(抄訳者注：以下は日本の実質株主における取扱いについての注記である。)

当社は、米国のデポジトリ・トラスト・カンパニー(The Depository Trust Company)を通じて実質株主の代理として保有を行う仲介機関に対して発行されたワラント（すなわち当社の株主名簿上に記載されている以外の日本の実質株主に対して発行されたワラント）の割当のうち、株式会社証券保管振替機構における外国株券等保管振替決済制度上の実質株主に対する割当については、当該制度に基づいて取り扱われる（ニューヨーク証券取引所における売却を含むがこれに限られない。）こととなると認識しております。

以上



News Release

Contact: Mark Herr
News Media
(O): 212-770-3505
(C): 718-685-9348

Joe Reali
Investment Community
(O): 212-770-7074

AIG ANNOUNCES SATISFACTION OF CONDITION TO ISSUANCE OF WARRANTS VIA DIVIDEND

RECAPITALIZATION MILESTONES EXPECTED TO BE COMPLETED

Federal Reserve Bank of New York To Be Fully Repaid

U.S. Treasury Department Holdings to Be Exchanged For AIG Common Stock

U.S. Treasury Department to Exit Ownership Stake in AIG Over Time

AIG Poised to Emerge As Financially Strong Company

NEW YORK, January 12, 2011 – American International Group, Inc. (NYSE: AIG) announced today that the condition to its previously announced dividend of approximately 75 million warrants has been satisfied. AIG also expects, assuming no material change in the relevant facts, circumstances and conditions, to close its previously announced recapitalization on January 14, 2011, although there can be no assurance in that regard.

The warrants will be distributed on January 19, 2011, to AIG's common shareholders of record as of January 13, 2011. Each warrant entitles the holder to purchase one share of AIG common stock, par value \$2.50 per share (AIG common stock), at \$45 per share.

“With today’s announcement, we anticipate that we will be able to deliver on our promise to the American people to repay the extraordinary assistance they provided to AIG during the financial crisis of 2008,” said Robert H. Benmosche, AIG President and Chief Executive Officer. “We remain grateful for their support of AIG, and we remain convinced that the American people will realize a profit on their investment in our company.”

“AIG is positioned as strong and worthy of investor confidence, with one of the largest, most diversified property and casualty companies in the world, a leading U.S. life insurance and retirement savings operation, and other businesses that are well positioned to deliver long-term value to all of our stakeholders,” Mr. Benmosche said.

--more--

AIG Announces Satisfaction of Condition to Issuance of Warrants via Dividend; Recapitalization Milestones Expected to be Completed

January 12, 2011

Page two

The warrant dividend, which was declared by the Board of Directors of AIG on January 6, 2011, was subject to the condition that AIG, the U.S. Department of the Treasury (Treasury Department), the Federal Reserve Bank of New York (FRBNY), and the AIG Credit Facility Trust (the Trust) each determined as of the close of business on January 12, 2011, that it expected (assuming there is no material change in the relevant facts, circumstances, and conditions on or before January 14, 2011) that the recapitalization will close on January 14, 2011. Although this condition to the warrant issuance has been satisfied, the recapitalization itself remains subject to closing conditions and there can be no assurance that facts, circumstances, or conditions will not change in a manner that would preclude the closing of the recapitalization on January 14, 2011.

If the conditions to closing the recapitalization are satisfied on January 14, 2011, AIG expects on that date to:

1. Repay and Terminate the FRBNY Credit Facility with AIG: AIG will apply proceeds from various asset sales to repay the FRBNY approximately \$21 billion in senior secured debt under the FRBNY credit facility and terminate the FRBNY senior secured credit facility. The repayment and termination of the FRBNY senior secured credit facility will result in an approximately \$3.6 billion charge in the first quarter of 2011, representing the remaining balance of the prepaid commitment fee asset.

2. Facilitate the Orderly Exit of the U.S. Government's Interests in Two Special Purpose Vehicles (SPVs): AIG will apply certain proceeds from asset sales to retire a portion of the FRBNY's preferred interests in an AIG-related SPV (the ALICO SPV) that holds MetLife, Inc. securities received from the sale of American Life Insurance Company. AIG will also draw approximately \$20 billion of previously undrawn Series F funds available to the company under the Troubled Asset Relief Program (TARP) to purchase the remainder of the FRBNY's preferred interests in the ALICO SPV and all of the FRBNY's preferred interests in the AIG-related SPV that holds approximately 33 percent of the ordinary shares of AIA Group Limited. After completing these purchases, AIG will then transfer the purchased preferred interests to the Treasury Department in consideration for retiring an equal amount of liquidation preference of the Series F preferred shares.

3. Retire AIG's Outstanding Preferred Shares: AIG will exchange 1.655 billion shares of AIG common stock for the \$49.1 billion of TARP Series E and Series F preferred shares and the Series C preferred shares held by the Trust on behalf of the U.S. Treasury. After these exchanges are completed and the Trust transfers its shares of AIG common stock to the Treasury Department, the Treasury Department will own approximately 92 percent of the common stock of AIG, as well as new Series G preferred shares, pursuant to which AIG may draw funds for general corporate purposes. AIG expects that over time the Treasury Department will sell its shares of AIG Common Stock subject to market conditions.

The Warrant Details:

Trading on the NYSE: AIG has applied to have the warrants listed on the New York Stock Exchange under the ticker symbol "AIG WS" and anticipates that the warrants will begin trading on the NYSE on a "when issued" basis on January 13, 2011. AIG has been advised by the NYSE that from January 11 through January 19, 2011 AIG common stock will trade with "due bills" attached, and that AIG common stock will begin trading regular way, ex-dividend, on January 20, 2011, the date following the distribution of the warrants. Due bills are essentially an assignment from a seller of common stock to a buyer of the right to receive the dividend.

--more--

**AIG Announces Satisfaction of Condition to Issuance of Warrants via Dividend;
Recapitalization Milestones Expected to be Completed**

January 12, 2011

Page three

Available Information: AIG will issue the warrants pursuant to a warrant agreement between AIG and Wells Fargo Bank, N.A., as warrant agent. Copies of the warrant agreement may be obtained at no charge from Wells Fargo Bank, N.A., at 888-899-8293 in the U.S. (toll-free) or 651-450-4064 outside the U. S. The warrant agreement is attached as an exhibit to AIG's Current Report on Form 8-K filed January 7, 2011 which contains a summary of the terms of the warrants and other important information. Additional information on the recapitalization is included in AIG's Current Report on Form 8-K filed December 8, 2010.

Certain statements in this press release, including in particular the contemplated closing date for the recapitalization, AIG's position after the recapitalization and the timing of sales of AIG common stock by the Treasury Department, constitute forward-looking statements. These statements are not historical facts but instead represent only AIG's belief regarding future events, many of which, by their nature, are inherently uncertain and outside AIG's control, including the timing and magnitude of any sales by the Treasury Department. It is possible that actual results will differ, possibly materially, from the anticipated results indicated in these statements. Factors that could cause actual results to differ, possibly materially, from those in the forward-looking statements are discussed throughout Part I, Item 2. Management's Discussion and Analysis of Financial Condition and Results of Operations and in Part II, Item 1A. Risk Factors of AIG's Quarterly Report on Form 10-Q for the quarterly period ended September 30, 2010, AIG's Quarterly Report on Form 10-Q for the quarterly period ended June 30, 2010 and of AIG's Quarterly Report on Form 10-Q for the quarterly period ended March 31, 2010, throughout Part II, Item 7. Management's Discussion and Analysis of Financial Condition and Results of Operations and in Part I, Item 1A. Risk Factors of AIG's Annual Report on Form 10-K for the year ended December 31, 2009 (including Amendment No. 1 on Form 10-K/A filed on March 31, 2010 and Amendment No. 2 on Form 10-K/A filed on August 24, 2010) and in AIG's Current Report on Form 8-K, filed December 8, 2010.

#

American International Group, Inc. (AIG) is a leading international insurance organization with operations in more than 130 countries and jurisdictions. AIG companies serve commercial, institutional and individual customers through one of the most extensive worldwide property-casualty networks of any insurer. In addition, AIG companies are leading providers of life insurance and retirement services in the United States. AIG common stock is listed on the New York Stock Exchange, as well as the stock exchanges in Ireland and Tokyo.

#